



まちかど

回覧

● 草津栗東防犯自治会 TEL077-551-0109 ● 草津警察署 TEL077-563-0110

サイバーセキュリティについて

不審なメールによる機密情報の漏えい被害や個人情報流出など、生活に影響を及ぼすサイバーセキュリティに関する問題が多数報告されています。

誰もが安心してITの恩恵を享受するためには、国民一人ひとりがセキュリティについての関心を高め、これらの問題に対応していく必要があります。

このため、政府ではセキュリティに関する普及啓発強化のため、2月1日から3月18日までを「サイバーセキュリティ月間」と定めています。

《被害の実例》

「メールに添付されたファイルを開いたら、パソコン内のデータが暗号化されて読めなくなった」、さらに「データ復元するための費用を請求された」という被害が発生しています。

《被害予防のポイント》

- ・メールの送信者と内容を必ず確認する。
- ・添付ファイルは安易に開封しない。
- ・ファイルのバックアップを作成しておく。
- ・ウイルス対策ソフトは常に最新にする。



ネット犯罪の被害防止

● ネット犯罪の現状

不正なサイトへと誘導し、情報や金銭をだまし取る詐欺は、年々手口が巧妙化・悪質化しています。

ワンクリック詐欺やネット通販を利用した詐欺など、被害にあわない対策を知っておきましょう。

また、実在するショップやブランド品販売業者を偽るサイトが存在します。アマゾン、楽天、ヤフー!などの有名ショッピングモール上でも、「出店」ではなく「出品」の形での商品販売や、オークションや“フリマ”など、個人間の取引に関するトラブルも発生しています。

● 被害予防の対策

- ・怪しいサイトにはアクセスしない。
- ・メールやSNSなどに記載されたURLや画像を安易にクリックしない。
- ・不当な請求画面は、慌てずに無視する。
- ・サービスを利用する際は、使用規約を必ずよく読む。
- ・セキュリティソフトやアプリ、OSは最新のバージョンに更新して利用する。
- ・万一、詐欺にあってしまったときは、消費者ホットラインや警察などの公的機関へすぐに相談する。



● 相談先

滋賀県警察本部サイバー犯罪相談窓口
077-522-1231 (警察本部代表)

置き引き・スリに注意

おしゃべりに夢中になっていたり、電車の切符を買っているスキに、床に置いたバッグなどを盗まれることがあります。また、後ろポケットに財布をさして歩いていると、すれ違いざまにすられることがあります。

《安全への心がけ》

荷物は、常に自分の目に入るところに置きましょう。



財布は周囲から見えない場所に収納しましょう。



預貯金詐欺に注意してください

草津署管内の高齢者宅に、草津警察署生活安全課員を名乗る者から「郵便局員の△△(人の姓)と××(人の姓)を知っていますか。銀行の関係の書類であなたの情報が出ていた。」等のアポ電が入りました。このような電話は、キャッシュカードを騙し取る詐欺に発展するおそれがあります。(裏面に続く)

《被害防止対策》

- ・電話機を留守番電話設定しておくことが最も効果的です。
- ・警察官や金融機関等の職員が、自宅までキャッシュカードを取りに来ることはありません。
- ・不審な電話があれば、家族や警察に相談しましょう。

金融商品詐欺の実例

金融商品詐欺とは、架空、または価値の乏しい未公開株、社債の有価証券、外国通貨、高価な物品などに関する偽の情報を提供し「購入すれば利益が得られる」とウソをつき、その購入名目などで金銭を騙し取る手口です。

《事例》

Aさんは、投資セミナーに関するSNSグループに参加したところ、同グループを統括する男のアシスタントと名乗る女から、同男の個人アカウントを紹介され、メッセージアプリで同男や同女、さらにサポート担当の男から順次、

「私は、多くの投資家を率いて自動取引で200%の利益を達成させました」

「自動取引は、小資本で複数の取引を行うので、一つの取引で大きな損失が出る心配はありません」

「初めての方なら、一週間無料体験ができます」「このサイトの実績を外部のサイトから調べてもらっても良い」

「自動取引に引き続き参加したい場合は、アップグレードする必要があります」

などと言われ、これらの話を信じたAさんは、指定されたサイトに口座を開設して入金、サイト上で利益が出たことから、その後も複数回にわたって振り込みを続け、結果、計200万円を騙し取られました。

《予防対策》

SNS等を利用して投資などを持ちかけ、送金を指示するものは詐欺であることから、必ず警察に相談するようにしてください。

還付金詐欺のアポ電発生

草津市内において、草津市役所福祉保健係の職員を名乗る者から「青色の封筒が届いていませんか」「□□さん宛のものなんですけど」等の電話がかかりました。

また、栗東市内においても、栗東市役所福祉課の職員（ヤマダ）を名乗る者から「医療費の返還について3月頃、世帯主宛に書類を送付したが返事が無い」「書類を再送するので一週間以内に対応していただきたい」等の電話がかかりました。

この2件のように、市役所の職員、金融機関の職員などを名乗る者から、口座振り込みを指定されたり、通帳やキャッシュカードを預かると思われる場合は詐欺が疑われますので、すぐに警察に通報してください。

「ながら見守り」で子どもを守ろう

「ながら見守り」とは、誰でも気軽にできることを基本に、日常生活や事業活動を行いながら、防犯の視点を保持して子どもたちを見守る活動です。買い物、犬の散歩、ウォーキング、花の水やりなど、日常生活の中でも無理なく行える「ながら見守り」は、大人が子どもを見守っている環境を示すことができます。「ながら見守り」に取り組みましょう。



令和5年12月中の犯罪発生状況（暫定値）（草津警察署管内）

●刑法犯認知件数・・・総数 78 件

主な犯罪発生件数	空き巣	0件
	忍込み	0件
	事務所荒し	1件
	出店荒し	2件
	万引き	15件
	自転車盗	24件
	オートバイ盗	0件
	車上ねらい	1件
	器物損壊	2件

《自転車盗の防止》

- ・短時間でもカギをかける
- ・2ロックを励行する
- ・防犯対策のある駐輪場を選ぶ
- ・駐輪場の柵や土台などしっかりロック（固定）する

●特殊詐欺被害の状況（令和5年1月からの累計）

	被害件数（前年同期比）	被害金額（前年同期比）
滋賀県	266件（+134件）	624,284,824円（+300,115,578円）
草津警察署内	46件（+25件）	112,371,000円（+80,553,267円）
草津市	34件（+17件）	99,342,000円（+73,811,267円）
栗東市	12件（+8件）	13,029,000円（+6,742,000円）